

2025年10月10日作成

がん罹患患者数及び新規診断時の三大療法別 需要推計データの概要

**厚生労働省健康・生活衛生局
がん・疾病対策課**

1. はじめに

本データは、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」と、全国がん登録における年齢階級別がん罹患率、院内がん登録における年齢階級別三大療法実施割合の推移を用いて、地域別のがん罹患者数及び新規診断時の三大療法別需要の推移を、厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課にて推計したものです。

都道府県及び都道府県がん診療連携拠点病院は、2040 年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関するとりまとめ（令和 7 年 8 月 1 日）に基づき、都道府県がん診療連携協議会において、がん医療提供体制の均てん化・集約化の検討を進めるために、本データを利用することができます。

本データには、複数の仮定に基づく推計が多く含まれていますので、〔2. データの留意点〕を十分に理解し、データの限界を認識した上でご活用ください。

日本の地域別将来人口推計及び全国がん登録のデータは、国立社会保障・人口問題研究所のホームページ又は e-stat にて公表されたデータを集計しています。院内がん登録を用いた数値は、院内がん登録全国収集データ提供規程（令和 5 年 4 月 1 日規程第 25-5 号）に基づき、国立がん研究センターで集計したデータの提供を受けて、厚生労働省にて算出しています。

なお、がん診療提供体制のあり方検討会等の検討を踏まえて、今後もより精緻なデータを随時提供してまいります。

2. データの留意点

(1) 全ての推計における留意点

全ての推計で、2017 年～2021 年の罹患率を用いているため、将来の罹患率が変わらなると仮定した場合の推計値が示されています。

(2) 新規診断時の三大療法別需要推計における留意点

三大療法別の需要推計では、院内がん登録における各医療機関の初回治療(※)の実施割合を用いています。当該推計で院内がん登録を用いた理由は、全国がん登録と比較して近年の数値まで収集されているためです。

一方で、院内がん登録のデータには以下の限界があることを十分にご理解ください。

- 院内がん登録のデータは患者単位の集計ではなく医療機関単位の集計となるため（名寄せをしていないため）、各地域におけるがん患者数を反映したものではございません。
- 院内がん登録全国集計事業に参加していない施設の診療実態は反映されておりません。
- 初回治療を受けた人数の推計であるため、再発等に対する治療は含まれておりません。
- 当該年度の新規診断症例の推計であるため、前年度から継続されている治療は含まれておりません。

※初回治療とは腫瘍の縮小・切除を意図した組織に対する治療のうち、最初の診断に引き続き行われた治療計画等に記載された治療です。この範囲が不明確な場合は、病状が進行・再発したりするまでに施行されたか、あるいはおよそ4か月以内に施行されたものとします。

また、将来推計においては、以下のような影響は反映されていないことも、十分にご理解ください。

- 新規治療の導入等による標準治療の変化の影響
- 医療機関又は診療科の開設や廃止による受療への影響
- 公共交通機関の新設や廃止等のアクセス変化による受療への影響 等

推計した三大療法はそれぞれ以下のように定義しております。

- 手術療法には、肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術（外科的治療）及び皮膚切開など等により口腔や鼻腔等の自然開口部以外から挿入された光学機器の視野下で行われる病巣切除術（鏡視下治療）が含まれます。なお、自然開口部から挿入された光学機器を用いた病巣の切除等の観血的治療（内視鏡治療）は含まれません。
- 放射線療法には、X線やγ線等の電磁放射線、陽子線や重イオン線等の粒子放射線、医療用ラジオアイソトープ等を用いた内照射療法による腫瘍縮小あるいは消失を目的とした治療が含まれます。腫瘍に対する照射が行われた場合は、緩和的な照射も含まれます。
- 薬物療法には、抗悪性腫瘍薬や分子標的薬等による細胞毒性や増殖阻害によって、腫瘍の縮小又は消失をはかる治療（化学療法）が、その投与経路は問わず含まれます。なお、特定のホルモン分泌の抑制により腫瘍の縮小又は消失をはかる治療（内分泌療法）については、手術療法と薬物療法を区分できないため含まれません。

院内がん登録に登録されているデータの詳細については、国立がん研究センターの発行している院内がん登録の標準登録様式（2025年6月16日）をご参照ください。

（３）二次医療圏に関する推計における留意点

データ分析に用いた二次医療圏は、令和5年12月31日時点のものを採用しています。ただし、福島県いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯舘村の13市町村については、二次医療圏としては2圏域であるものの、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」上、ひとつの地域（「浜通り地域」）として集計されていることから、1圏域として集計しています。

3. 算出に用いた推計式

- ・がん罹患者数（都道府県単位）の推計式

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を用いて算出した将来人口推計（都道府県単位）

×

全国がん登録における年齢階級別がん罹患率（2017年～2021年平均）（都道府県単位）

- ・がん罹患者数（二次医療圏単位）の推計式

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を用いて算出した将来人口推計（二次医療圏単位）

×

全国がん登録における年齢階級別がん罹患率（2017年～2021年平均）（都道府県単位）

- ・新規診断時の三大療法需要（都道府県単位）の推計式

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を用いて算出した将来人口推計（都道府県単位）

×

全国がん登録における年齢階級別がん罹患率（2017年～2021年平均）（都道府県単位）

×

院内がん登録における症例区分20（自施設診断・自施設初回治療開始）及び症例区分30（他施設診断・自施設初回治療開始）の年齢階級別（0～14歳、15～64歳、65～74歳、75～84歳、85歳以上）の三大療法の実施割合の推移（2016年～2023年）から線形予測した将来の三大療法の実施割合（毎年参加している696施設の集計）

- ・新規診断時の三大療法需要（二次医療圏単位）の推計式

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を用いて算出した将来人口推計（二次医療圏単位）

×

全国がん登録における年齢階級別がん罹患率（2017年～2021年平均）（都道府県単位）

×

院内がん登録における症例区分 20（自施設診断・自施設初回治療開始）及び症例区分 30（他施設診断・自施設初回治療開始）の年齢階級別（0～14 歳、15～64 歳、65～74 歳、75～84 歳、85 歳以上）の三大療法の実施割合の推移（2016 年～2023 年）から線形予測した将来の三大療法の実施割合（毎年参加している 696 施設の集計）

4. 提供データに含まれる内容

・「graph」シートには以下のグラフが含まれます。

- ① グラフ 1 将来人口推計
- ② グラフ 2 がん罹患者数推計
- ③ グラフ 3 新規診断時の手術療法の需要推計
(2025 年を 1.0 とした場合の 2030 年～2050 年の推計値)
- ④ グラフ 4 新規診断時の放射線療法の需要推計
(2025 年を 1.0 とした場合の 2030 年～2050 年の推計値)
- ⑤ グラフ 5 新規診断時の薬物療法の需要推計
(2025 年を 1.0 とした場合の 2030 年～2050 年の推計値)
- ⑥ グラフ 6 新規診断時の三大療法の需要推計
(2025 年を 1.0 とした場合の 2030 年～2050 年の推計値)
- ⑦ グラフ 7 二次医療圏毎の人口将来推計
- ⑧ グラフ 8 二次医療圏毎のがん罹患者数推計
- ⑨ グラフ 9 二次医療圏毎の新規診断時の手術療法の需要推計
(2025 年を 1.0 とした場合の 2030 年～2050 年の推計値)
- ⑩ グラフ 10 二次医療圏毎の新規診断時の放射線療法の需要推計
(2025 年を 1.0 とした場合の 2030 年～2050 年の推計値)
- ⑪ グラフ 11 二次医療圏毎の新規診断時の薬物療法の需要推計
(2025 年を 1.0 とした場合の 2030 年～2050 年の推計値)

・「pivot」・「pivot2」シートには「graph」シートに記載されているグラフのデータが記載されています。

・それ以降のシートには分析に用いた推計の元データが含まれています。

※本エクセルファイルには、一部のシートや行・列を非表示にしている箇所があります。内容を整理し見やすくするための対応であり、非表示部分については、解除せずにご利用ください。また、グラフやデータのコピーは可能ですが、数式セルの移動や削除を行うと不具合の原因となりますので、操作しないようお願いいたします。

5. データの閲覧方法

- ① [graph] シートにおいて、都道府県を選択して下さい。

①都道府県を選択してください。

01_北海道	02_青森県	03_岩手県	04_宮城県
05_秋田県	06_山形県	07_福島県	08_茨城県
09_栃木県	10_群馬県	11_埼玉県	12_千葉県
13_東京都	14_神奈川県	15_新潟県	16_富山県
17_石川県	18_福井県	19_山梨県	20_長野県
21_岐阜県	22_静岡県	23_愛知県	24_三重県
25_滋賀県	26_京都府	27_大阪府	28_兵庫県
29_奈良県	30_和歌山県	31_鳥取県	32_島根県
33_岡山県	34_広島県	35_山口県	36_徳島県
37_香川県	38_愛媛県	39_高知県	40_福岡県
41_佐賀県	42_長崎県	43_熊本県	44_大分県
45_宮崎県	46_鹿児島県	47_沖縄県	

- ② 二次医療圏を選択して下さい。

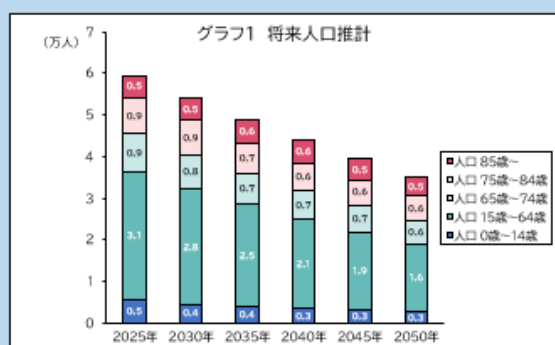
② 2次医療圏域を選択してください（複数選択可）。

北海道遠紋	北海道釧路
北海道後志	北海道根室
北海道札幌	北海道宗谷
北海道十勝	北海道上川中部
北海道上川北部	北海道西胆振
北海道中空知	北海道東胆振
北海道南空知	北海道南渡島
北海道南檜山	北海道日高
北海道室蘭野	北海道北空知
北海道北渡島檜山	北海道北網
北海道留萌	

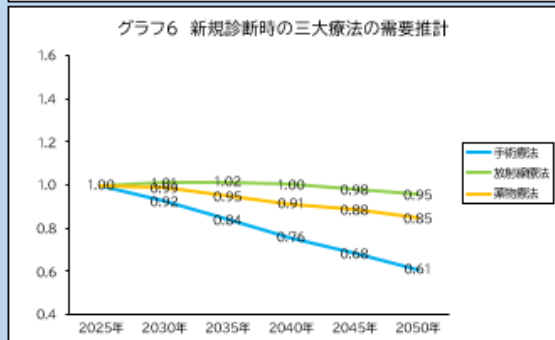
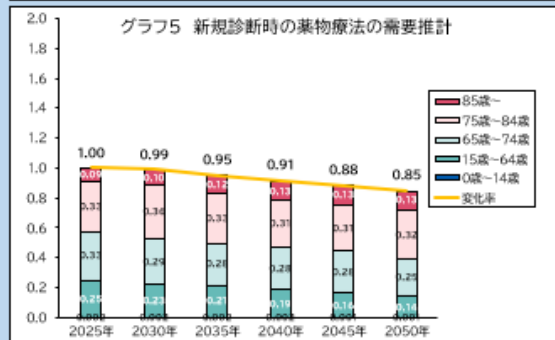
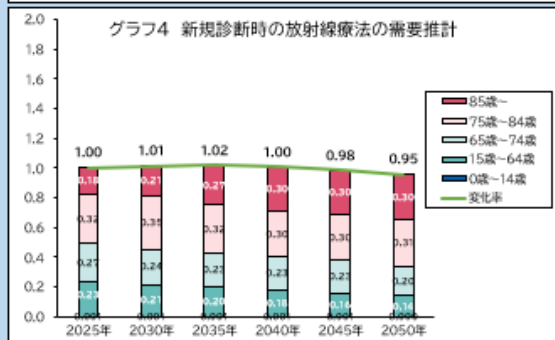
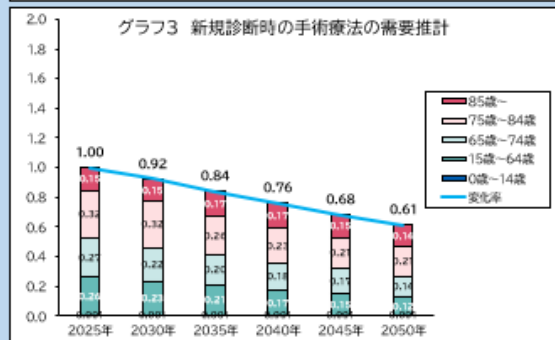
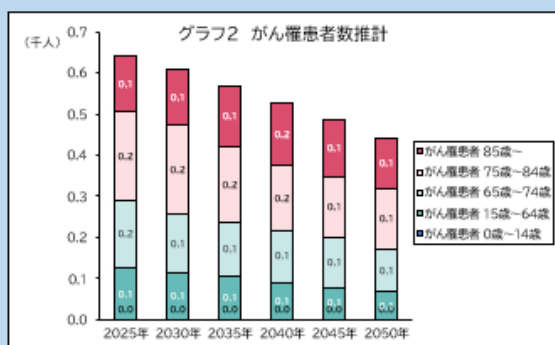
③ ②で選択した二次医療圏の結果が自動的にグラフとして生成されます。都道府県全体のグラフを作成したい場合は②で全ての二次医療圏を選択して下さい。また、複数の医療圏を選択することでそれらを合算した状態での分析結果がグラフ1～グラフ6に生成されます。

④ 選択した二次医療圏の規模に応じて適宜、縦軸の単位の修正をお願いいたします。

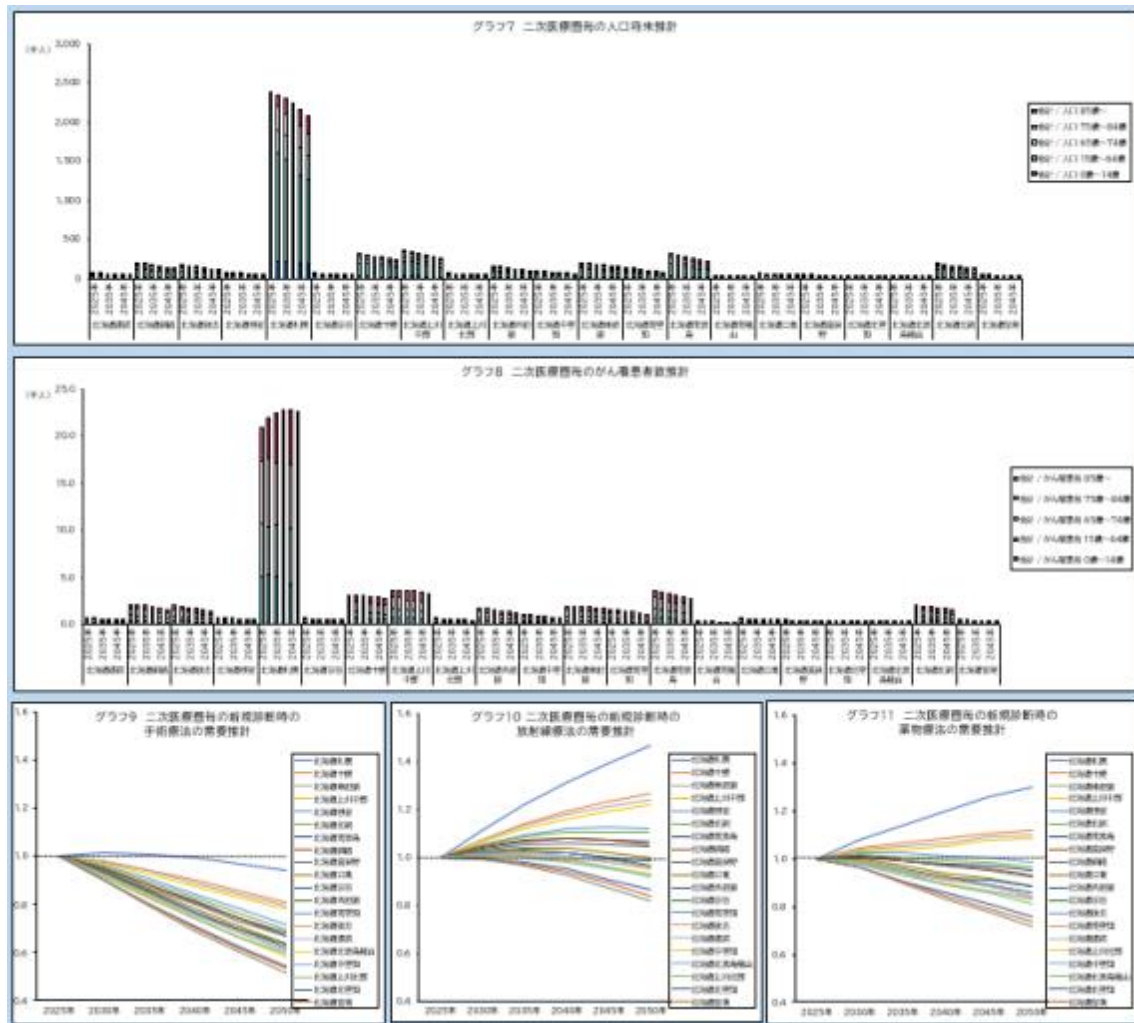
③選択した地域のグラフが生成されます。



④適宜、縦軸の単等の修正をお願いいたします。



- ⑤ ①で選択した都道府県内の二次医療圏別の将来推計一覧についても、[graph]シート下部のグラフ7～11でご確認いただくことが可能です。



以上